

株式会社 ティ・オー・エス

メディアコミュニケーション学部情報文化学科
3年 橋垣 将隆

1. 実習企業（団体）の概要

プログラム受託業務、ソフト要員（システムエンジニア、プログラマー等）派遣業務を手掛ける。主要事業は官公庁関連向けシステムの構築。その他、携帯コンテンツの作成、WEBシステム開発等を手掛け、多様な顧客ニーズに応じている。

- ・ 設立 1973年5月16日
- ・ 所在地 東京都千代田区鍛冶町1丁目9番4号 KYEビル4F
- ・ 資本金 2000万円 ・ 従業員数 90人
- ・ 代表取締役 伊藤 満

2. 実習内容

公共系システムの開発に関わる作業

3. 実習の成果

今回のインターンシップで学んだことは伝えることの大切さです。インターンシップの実習においては、自分がどこまで作ったかの引継ぎも兼ねた報告会を開いていただきました。自分が作ったプログラムが実際にどんな動きをするのか、どう処理をするのかを説明しました。実際の職場ではどこまでやったのかを明確にすることでその仕事を引き継ぎする人が後はどうすればいいか、何が必要なのかを知る必要があるためそれを体験させて頂きました。その後は作ったものに対して質問をしていたことで、良いところやアドバイスを頂きました。プログラムを作る際に、そのプログラムはこの動きなのかを名前でも表現することも重要なことなのだを教えて頂きました。また、目標の所まで設定した私に対しては自分の力をしっかり見極めることも仕事をするうえでは大切なのだと教えて頂きました。またプログラムを試しに作って試行錯誤をすることも大事だが整理整頓することも大切だと教えて頂きました。報告会の後はいただいたアドバイスを元に作ったところを少し直す作業を行いました。その際に企業の方からコメントを使って何が出来ていないか、バグがないかも書いた方がよいとアドバイスをいただいたので実践をしました。

4. 実習の感想

今回のインターンシップは、とても充実した8日間になりました。学んだことは、人とのコミュニケーションの重要性和難しさです。インターンシップでは初めてのことばかりで分からないところが多くありました。そのことについて質問させて頂く際、自分が何をしたいかと躓いているのか、どこが出来ていないかをしっかりと相手に伝わりきれていないことがあり、コミュニケーションの重要性を痛感しました。実際の会社の中では同じ階にいる人同士で疑問に思ったことを聞いたり、不適切なことがあった際全体で何が悪いのかを話し合っている姿がありました。その協力し合っている姿を見て一番大切なことはコミュニケーションを取り合って協力出来ることなのだと感じました。企業の方々とお話をした時にも、一番困るのは大丈夫と言いつつ質問をしないで、実際に見てみたら出来ていなかったということだとおっしゃっていました。プログラムを打てるかどうか大切なことではあるが何より大切にしなければいけないことは人とコミュニケーションを取って、質問をすることなのだ学びました。私もきちんとコミュニケーションを取りながら仕事をしたいと思うので、これからの学生生活で実践していきたいです。今回の体験をしっかりと就職活動に活かしていこうと決意しております。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実習内容
1日目	8月24日(水)	本社にて伊藤社長とご挨拶 研修期間中の作業説明
2日目	8月25日(木)	第2情報システム部1課にてツール作成
3日目	8月26日(金)	第2情報システム部1課にてツール作成
4日目	8月29日(月)	第2情報システム部1課にてツール作成
5日目	8月30日(火)	第2情報システム部1課にてツール作成
6日目	8月31日(水)	第2情報システム部1課にてツール作成 企業の方による業界説明、 会社説明
7日目	9月1日(木)	第2情報システム部1課にてツール作成
8日目	9月2日(金)	第2情報システム部1課にてツール作成 引継ぎ、報告会